



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第 98 号

2022 年（令和 3 年）3 月 31 日

発行：鎌ヶ谷市国際交流協会

〒273-0101 鎌ヶ谷市富岡 1-1-3

きらり鎌ヶ谷市民会館

TEL：070-8906-3350

e-mail：main@kifa.gr.jp

鎌ヶ谷市 市制50周年 記念式典 市制発展において功績のあった団体として表彰されました

2021年9月1日に市制施行50周年を迎え、11月13日（土）きらりホールで記念式典が執り行われました。

式典では各分野に於いて功績のあった個人・団体が表彰され、鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）が、特別感謝状を受表彰しました。



市制施行50周年協賛事業 世界を知る会

「私が学んだSDGs」～いま私たちに出来ること～

KIFA初めてのオンライン事業として「世界を知る会」を9月25日（日）に開催。本事業は鎌ヶ谷市市制施行50周年協賛事業として一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所と共催、また、鎌ヶ谷市と鎌ヶ谷市教育委員会の後援事業として、YOUTUBEを使って東部学習センターのレインボーホールから配信を行いました。



YouTube で配信した時の画像

世界で注目されている「SDGs」。講師を務めたのは公益社団法人 日本青年会議所主催「JCI JAPANグローバルユース国連大使育成事業」に千葉県代表として参加した高校生の甲斐義人さん。

第1部として「SDGsって何？」というテーマで鎌ヶ谷青年会議所メンバーが講演。多様性をキーワードにSDGsの成り立ちや17の開発目標、日本における達成度について説明。身近なことから一人ひとりが意を持って行動することこそが重要という発信を行いました。

第2部は「私が学んだSDGs～いま私たちに出来ること～」のテーマで、高校生が参加した事業の概要、様子、学んだこと、気づいたことを実体験した高校生ならではの言葉で発信。事業の報告と合わせて、自身のアクションプランや今後のアプローチなど、いま私たちに出来ることについて同世代の若者に投げかけました。



グローバルユース国連大使育成事業
終了証を授与される甲斐義人さん

Kamagaya to the world

世界につながる From 鎌ヶ谷鎌ヶ谷

鎌ヶ谷在住外国人が
自身の文化や慣習をビデオで紹介

Part 1 は JET（The Japan Exchange and Teaching Programme）の補助事業に協力し、各国の文化や慣習を紹介。

カリブ海の小さな島 トリニダードトバコの多様性、クレオール（トリニダード English）や楽器スティールパン。メキシコのカードゲーム「ロテリア」。韓国の伝統的な衣装「韓服」や日本と異なる挨拶や食事のマナー。お米を食べるソマリアの食文化や貧しい人々、恵まれない人々を助けようとする考え方。カナダの食文化フルーツサラダなどを英語と日本語で紹介しました。また、在住外国人が甲冑師を訪問し、日本の文化、甲冑と 5 月人形について学びました。様々な5月人形や屏風を見学し、最後に兜のパーツ（櫓の板）を使ってキーホルダーの作成体験を紹介しました。

Part 2 はアメリカの冬の植物、ハロウィンで食べる「Dirt in a Cup」（カップに入れられた泥）の作り方、ハワイアンクリスマス、お揃いのパジャマを着て過ごすイギリスのクリスマス、ユダヤ系アメリカ人の「Hanukkah（ハヌカ）」の過ごし方などを紹介しました。自分のルーツを大切にしつつ、他国の文化や慣習を理解すること。「Kamagaya to the world」を通して、参加協力してくださった外国人の思いが伝わったのではないのでしょうか。



Dirt in a Cup

外国家庭料理講習会

イタリア・フィレンツェ

2月6日(日)イタリア・フィレンツェと日本をオンラインで繋ぎ、外国家庭料理講習会イタリア編を開催しました。市内のみならず、他市、他県からの参加者を含め25名(家族)がお菓子作りを楽しみました。

講師はイタリア・フィレンツェ在住の中山久美子さんとダニエーラさん。まずは講師お二人が住む街をスライドで紹介し、現地を散策。街並みを楽しんだ後、いよいよ調理です。説明を聞きながら「フィレンツェ風スキアッチャータ」を作ります。「スキアッチャータ」はフィレンツェのカーニバルまたは3月19日の父の日に出てくる定番菓子。正確な計量等はなく、スプーンとボウルがあれば作れるという、まさに家庭で受け継がれるマンマの味。



中山久美子さんとダニエーラさん

中山さん、ダニエーラさんの作り方を見ながら材料を混ぜてオープンへ。焼き上がるまでの時間は、イタリアのこと、スキアッチャータのこと、コーヒー、給食など...いろいろな質問しながら爆笑ありの楽しい時間を過ごしました。



参加者からの声

- ・レシピをアレンジしないイタリア人の頑固さが良かった
- ・季節の物を食べる、伝統を大切にする、考えさせられた
- ・さじ加減が本当にアバウトなのに大丈夫なんだとビックリした
- ・イタリアの明るいマンマ素敵・イタリアは食に関する情熱が深い
- ・イタリアの話がわかりやすく面白かった

(*写真 参加者が作った「フィレンツェ風スキアッチャータ」)

外国文化サロン お家にいながら旅気分



ディプテイさん



劉さん



カンタンさん



尹さん

2022年2月27日(日)「外国文化に親しむサロン」がオンライン配信で行われました。

今回は、コロナ禍で海外旅行に行けない今、「お家にいながら旅気分」をテーマに、インドのディプテイ・タクルさん、中国の劉興潔さん、フランスのブクソ・カンタンさん、韓国の尹美善さん4名をゲストスピーカーにむかえ、ガイドブックに載っていない魅力的な場所や食べ物を紹介していただきました。

さあ旅の始まりです。まずはインドのディプテイさん。生まれ

故郷の街ナシーク(Nashik)は商業都市ムンバイから約200km。デカン高原にある海拔610mの高地でインド最大のワインの生産地です。

中国の劉さんは、歴史ある広大な棚田の絶景を紹介しました。元陽ハニ棚田が描き出す景色はまるで大地のキャンバスに描かれた模様ようです。その雄大な景色に、参加者から「東京ドーム何個分ですか?」と聞かれる場面も。

南フランス出身のカンタンさんは、フランスで最も美しいと言われるユゼス(Uzès)の街を紹介します。古い町並みと歴史的な建物、その魅力を語ってくれました。

韓国の尹さんは、ソウルを横切るように流れている清溪川(チョンゲチョン)やマンウォン市場、韓国ドラマの影響で人気が出たお菓子などを紹介。清溪川はデートスポット。ライトアップされた夕暮れの川に添って若いカップルがたくさん。マンウォン市場は、安くて美味しくお腹を満たしてくれる。プチプライスグルメが楽しめると、韓国の若い人にも人気の市場です。

参加者からは、まだ海外旅行に行くことができないので、おすすめのお国料理を提供してくれる近場のレストランを教えて欲しいと質問がありました。自宅で安心して参加でき、楽しめましたとの感想もいただきましたが、海外旅行を楽しめる日が待ち遠しいですね。

「バラク・オバマ・プラザ」

秋山 秀一

マーガレット・ミッチェルのベストセラー小説『風と共に去りぬ』の愛読者や同名の映画ファンにとって記憶に残る名セリフ、「タラへ帰ろう」。

主人公 スカーレット・オハラの生家のあるタラが、作品の舞台アメリカのアトランタにはないということは、あまり知られていないようだ。このタラという地名は、マーガレットの母方の曾祖父がアイルランドからの移民であることに関係していて、アイルランドにルーツを持つ人にとっての心の故郷、聖地「タラの丘」に由来している。

1980年の夏以来、ほぼ40年ぶりに、ぼくは首都ダブリンから北西へ50数kmの距離にある「タラの丘」を訪れた。丘の上に立ち、頂にある立石(リア・ファル)に触れ、360度ゆっくり回りながら眺めたアイルランドの風景が、記憶にある昔のものと変わらなかったことに驚き、感激した。

移民として世界各地に渡ったアイリッシュ、ケルトの人々の心の故郷、タラ。

19世紀、ダニエル・オコンネルが、ここタラの丘でアイルランド自治を訴えるために開いた集会には100万人ものアイルランド人が集まったと伝えられている。

ケネディ元アメリカ大統領のルーツはアイルランド、ということはよく知られている。しかし、ケネディ以外にもアイルランドをルーツに持つアメリカの大統領がいた、ということはあまり知られていない。実は、レーガン、クリントンそれに、オバマ元アメリカ大、領も、ルーツはアイルランドなのである。

7号線バイパスのドライブイン(スーパーマックス)の2階に「バラク・オバマ・プラザ」がある。44代アメリカ大統領バラク・オバマの母方の6代前の先祖がアイルランド人で、2011年にオバマ大統領がこの地を訪れたことが縁で、2014年のアメリカ独立記念日7月4日にオープンした。入り口に、オバマ夫妻のパネルがあり、館内には、オバマ大統領の胸部像をはじめ、アイルランドにルーツを持つケネディ、レーガン、クリントン元大統領のパネルも展示されている。

文・写真:鎌ヶ谷市国際交流協会 会長(日本エッセイスト・クラブ理事/日本旅行作家協会顧問理事/日本外国特派員協会 会員)



バラク・オバマ・プラザ 館内



リア・ファル



オバマ夫妻の写真パネル

二年ぶりの日本語講座 特別学習会

書道体験と再会の笑顔

外国人が日本語を学ぶ KIFA 日本語講座。コロナ蔓延防止策等による講座の時間変更や感染拡大による影響で、参加したくても参加できない受講生が大勢います。

12月8日(水)二年振りに日本語特別学習会を実施しました。書家 菱沼美知子さんから手ほどきを受け、お習字会を楽しみました。コロナ禍でなかなか授業に参加できなかった受講生の姿もあり、久しぶりに会うボランティアや仲間との再会を喜びあう楽しい一時でもあったようです。参加受講生の「今日は楽しかった」の声に、改めて一日も早く安心して学べる日を迎えられることを祈るばかりです。



書道を体験する受講生

KIFA 2022 年 語学講座受講生 募集



講座名	内 容	テキスト	開講日・会場
① 英語初級 講師 Derek Smith	基礎英文法を学びながら、日常英会話 リーディング、リスニングを学ぶ	Side by side 2 Extra・ 同 Activity Workbook	2022 年 5 月 17 日(火)午後 全 30 回 場所:まなびいプラザ
② 英語中級 講師 Derek Smith	プレゼンテーション・ディスカッションを 通して自分の意見を伝えるスキルを学ぶ	Impact Issues Level 1 (Third version)	2022 年 5 月 17 日(火)午後 全 30 回 場所:まなびいプラザ
③ ハングル 会話 講師 尹 美善	基本文型や発音、挨拶 日常会話を学ぶ講座	한국어 2-1 (韓国教育庁)	2022 年 5 月 17 日(火)午前 全 30 回 場所:まなびいプラザ
④ ハングル 中級 講師 尹 美善	韓国語会話で トレンド・歴史・韓国社会を学ぶ	講師作成資料を使用	2022 年 5 月 17 日(火)午前 全 30 回 場所:まなびいプラザ
⑤ 中国語 会話 講師 劉 興潔	発音を重点に 日常会話まで学ぶ講座	スリーステップで学ぶ 中国語(歩歩高漢語)	2022 年 5 月 16 日(月) 午前 全 30 回 場所:中央公民館
⑥ スマイリーキッズ (小学生対象)	小学生の英会話講座 (学年・レベル別によるクラス編成)	Let's go 5th Edition テキスト・ワークブック	2022 年 5 月 21 日(土)午前 全 30 回 場所:まなびいプラザ

■受講料 ①～⑤27,000 円(一般)24,000 円(会員) (テキスト代、会費、別途)

■スマイリーキッズ受講料 24,000 円(一般)22,500 円(会員) (テキスト代、会費、保険代等別途)

■詳しい日程、振込先等は、後日受講決定者に通知します

応募方法・注意事項など

*応募方法 ●往復はがきで 希望講座名、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、会員または非会員を明記

●新規会員希望の方は、「会員申し込み希望」と明記してください

●複数の講座を受講する場合、必ず 1 講座につき一枚の往復はがきで応募してください

●スマイリーキッズ講座は、氏名にふりがな、学校名・学年を明記

●テキスト不要の場合、はがきにテキスト不要と明記 ●返信用には住所・氏名を記入

*締め切り 2022 年 4 月 22 日(金)必着

*一旦納入された会費・受講料・テキスト代等は、お返しできませんのでご了承ください

会員申し込み方法 *申し込み受付後、受講決定通知送付と一緒に会費支払い方法の案内を送付します

会員 正会員(市内在住者・在勤・在学) 一般:2,000 円 学生・生徒:1,000 円 家族(1 家族 4 名まで):5,000 円

準会員(市外) 一般:3,000 円・学生・生徒:1,500 円 家族:5,000 円

法人・団体会員 (市内に事務所等を有すること) 一口:10,000 円

注意事項 *会場の都合、コロナウィルス感染状況などにより、日程等の変更や講座回数を減らして実施する場合があります

*応募者多数の場合、抽選 *受講決定者には、追って詳しい日程、支払い方法等を書面で通知します

*応募人数が定員に満たない場合は、開講できないことがあります

お知らせ

ホームページ リニューアル実施予定

リニューアル予定 2022 年 5 月
多言語情報発信ページの新設
スマートフォン対応などを予定

■お問い合わせ(送信先)

鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA) 事務局

TEL:070-8906-3350

月・水・土 10:30~15:00

E-mail: main@kifa.gr.jp

HP: <http://www.kifa.gr.jp/>

